２．現地普及活動事例の紹介

１）「水稲地帯でのポリポット利用による高糖度トマト産地の育成」
～ニセコフルーツトマト倶楽部ソルトーマ誕生物語～

後志農業改良普及センター

１　はじめに

蘭越町は、水稲作付面積1,900ha(H25年)の稲作を主体とする農業の町であるが、施設園芸（トマト、メロン）を取り入れた複合経営も盛んである。

町内の水稲育苗ハウスは13haあるが、ポジティブリスト制度により、その後作利用は困難であった。

普及センターでは、平成22年指導参考事項「ポリポットを利用した高糖度トマト栽培技術とその経済性評価」を活用し、水稲育苗ハウスの後作利用による塩トマト栽培を提案し、地域への導入を支援した（写真1)。

２　活動の経過

平成22年～25年にかけ、普及センターと試験場が連携し、北海道では初となる塩トマト栽培の生産組織の設立、栽培基準の作成、商品のブランド化、販売促進など、産地形成に至る一連のブランディング（価値向上）活動を展開した。

（１）試験栽培の実施

平成23年､町内2戸のトマト生産者ほ場において、塩トマトの試験栽培を行った。

その結果、収穫された果実は慣行栽培と比較して果重で約2/3と小さかったものの､平均糖度は10.3%と高かった（図1)。

また、慣行栽培と比較して、初期の尻腐れ果の発生や萎れは多かったが､病害虫の発生は少なく、栽培に期待が持てる結果であったため、地域への波及を推進した。

（２）販路開拓と価格交渉

平成23年には「塩トマト」の知名度向上や販売促進のため、売り先の確保に向けたＰＲキャラバンの実施や営農Naviを利用した希望単価の試算を行い、市場との価格交渉を展開した（表１)。

（３）栽培基準と出荷規格の作成

生産出荷に向け、栽培基準と出荷規格を作成した。栽培基準の作成は試験場と連携し、出荷規格は市場および他産地の事例を参考にして作成した。

（４）生産組織の設立へ誘導

この取組を知ったニセコ近郊の農業者からも希望があり、平成24年には蘭越町4戸、ニセコ町3戸、真狩村1戸の計8戸が本格生産に取り組んだ。

３ 活動の成果

（１）地域への波及

平成26年には、倶知安町も加えた４町村、9戸が作付けを予定し、栽培株数も23,000株に拡大する（図２)。

（２）販路の確立

平成25年には、札幌市内の商業施設（マルヤマクラス）において販促イベントを開催し、販路を市場以外にも拡大するとともに、規格外品を飲食店等に仕向け、販路を確立した（写真２)。

（３）生産組織の設立

生産者組織名を｢ニセコフルーツトマト倶楽部｣、ブランド名を「ソルトーマ」と命名した。また道内各地に点在する塩トマト生産者間のネットワークの構築を支援した。

（４）評価と知名度の向上、成果の要因

テレビ、ラジオ、雑誌等の各メディアから取組の趣旨、美味しい理由について紹介され、「ソルトーマ」の評価と知名度が高まった。

（５）成果の要因

指導参考事項を活かした地域課題の解決に向けた技術導入、生産から販売まで一貫した産地づくり、および多くの流通チャネルを活かしたブランディングが、高糖度トマト「ソルトーマ」の産地育成という成果をもたらした要因である。

４　今後の展開

「ニセコフルーツトマト倶楽部ソルトーマ誕生物語」は始まったばかりである。

今後は、産地も広域で拡大することから、ＪＡとの連携販売もすすめていく。

また、さらなる良質・安定生産に向け、試験場と連携した技術改善を図っていきたい（表２)。

写真１　ソルトーマの栽培状況

表１　ソルトーマと慣行栽培の比較（10a当たり）

	ソルトーマ	慣行トマト
栽植本数	4,039	2,251
収量 kg	3,332	8,000
単価 円/kg※1	821.6	290.0
粗収益 円	2,738,904	2,842,000
生産費 円※2	1,389,409	1,492,653
所　得 円	1,349,495	1,359,347
H25実績単価 円/kg	1,039	―

*1 慣行トマトの所得水準に合わせた希望単価

*2 減価償却費含まない

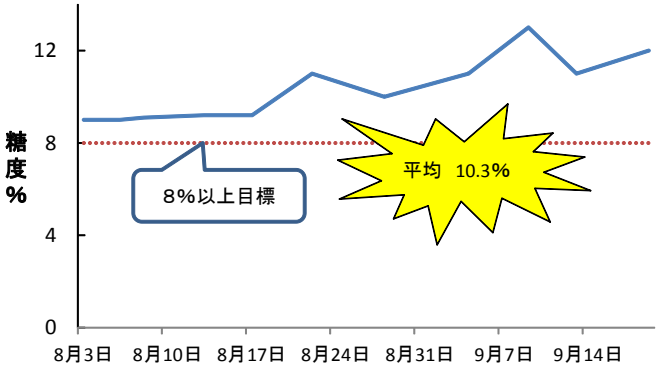

図１　塩トマトの平均果実糖度の推移（H23年8/1～9/18）

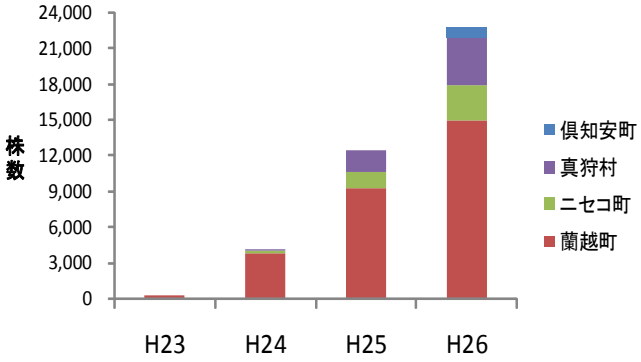

図２　町村別栽培株数の推移

写真２　販売促進イベント

表２　指導参考事項と現地体系の比較

	培　土	灌水装置	養液量	被覆資材
指導参考事項	いちご用培土	自動	200～300cc/日	―
現地改善事項	いちご用培土※1	タンク式手動	200～450cc/日※2	遮光資材※3

*1 ポリポットからの養液漏れ防止のため、「水分値無調整培土」から「水分値調整済培土」に変更

*2 萎れ防止のため、収穫始から収穫終（７／中～8/下旬）の１日当たり給液量を450cc/日に増加

*3 萎れ、裂果防止のため、寒冷しゃ（遮光率30%）で定植～収穫終まで被覆